

ellipse

[エリプス]

TOPICS

女性の幅広い活躍を推進する お茶の水女子大学賞と理系女性教育開発共同機構

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

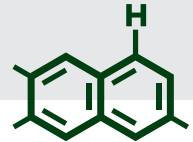
お茶の水女子大学イベント情報
セミナー「こころとからだを拓くレッスン」
事務局よりお知らせ



女性の幅広い活躍を推進する



お茶の水女子大学賞と 理系女性教育開発共同機構



☑ リケジョのルーツはお茶大にあり！

昨今「リケジョ（理系女子）」という言葉が広く知られるようになり、理系女性活躍促進支援事業が国の政策にもなっています。けれどもかつて、学問の分野においても男女差があることが当然とされ、「女子が科学をやっても、ものになるまい」とすら言われた時代がありました。そのような中でパイオニアとなり今日の礎を築いたのはお茶の水女子大学（女子高等師範学校、東京女子高等師範学校）出身の女性たちでした。日本で初めて博士号（理学博士）を取得し、植物学に関する多くの論文を著した保井コノ、国内第2号の女性博士となり天然色素の研究など化学の分野に業績を残した黒田チカ、国際的に活躍した女性物理学者湯浅年子、緑茶の研究で業績を挙げ、日本初の女性農学博士となった辻村みちよ……。 “日本初” という輝かしい言葉の響きとは裏腹に、逆風の中で道を切り拓き、後進を育てる苦労は並大抵のことではなかったはずです。

こうした歴史的背景もあり、お茶の水女子大学は、2004年の法人化に際し、「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する」との標語を掲げるとともに、全国に先駆けて「女性支援室」を設置し、女性リーダーの育成と女性研究者支援を推進してきました。

今回はその中からリケジョを応援する取り組みをいくつかご紹介しましょう。

1 お茶の水女子大学賞

「お茶の水女子大学賞」は、学術文化の発展及び国際的な学術文化の交流、社会貢献等において、特に顕著な業績を挙げた女性を顕彰するものです。第1号は2013年度に設立された「湯浅年子賞」。2015年度には「黒田チカ賞」が、2016年度には「保井コノ賞」「辻村みちよ賞」、「小泉郁子賞」が加わりました。

● お茶の水女子大学賞 (<http://www.ocha.ac.jp/danjo/op/>)

湯浅年子賞	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK）が日仏共同事業として運営する「湯浅年子ラボラトリー（TYL）」の協力を得て、湯浅年子博士の自然科学及びその関連分野に対する功績を記念して設立された。自然科学の諸分野において顕著な研究業績を挙げた者、また、自然科学の社会的普及活動あるいは同分野の女性研究者を増大させる活動において、顕著な業績を挙げた者を受賞対象とする。
黒田チカ賞	故前田侯子名誉教授からの御寄附をもとに設立された。黒田チカ博士の日本最初の女性化学者としての自然科学研究への貢献と業績を讃えると共に、若手女性研究者の活躍を願い、自然科学の諸分野において研究業績が顕著であり、将来当該分野において国際的に活躍する女性研究者となることが期待される者を対象とする。
保井コノ賞	日本の生物科学の黎明期から革新的な研究を展開するとともに、本学及びその前身校において数多くの女子学生を育てた保井コノ氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、生命科学とその関連領域科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。
辻村みちよ賞	本学卒業後数多くの女子学生を育て、茶の成分について長年にわたって優れた研究を行い、日本初の女性農学博士として活躍した辻村みちよ氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、家政学・生活科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。
小泉郁子賞	本学卒業後アメリカに留学し、『男女共学論』を著すなどの社会的活動を通じて女性の権利向上を広く訴えるとともに、日中教育文化交流に尽力し、戦後は桜美林学園の創設発展に貢献した小泉郁子氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、人文社会科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。

2 理系女性教育開発共同機構 (CORE of STEM)

2015年4月には、奈良女子大学と連携して理系女性教育開発共同機構が開設されました。共同的な活動として「1. 女子の理系進路選択可能性の拡大」「2. 魅力的な理数教育の創造」「3. 理系女性リーダーの育成」「4. グローバル化の推進」を掲げています。別名「CORE of STEM」は「Collaborative Organization for Research in Women's Education of Science, Technology, Engineering, and Mathematics」の略。「理系」を「Science」「Technology」「Engineering」「Mathematics」の総称として捉え、女性が理系へ進みたいと思うきっかけは何か、一方、理系への進路選択の壁になっているものは何かを調査し、初等中等教育における女性の理系への進路選択を支援するとともに、新たな理系人材育成プログラムの開発を行っています。

◆ ホームページによる情報発信

機構の公式 Web サイトは、様々な角度から理系分野の面白さを発信しています。例えば、洗濯物をたたむロボットや『元素生活 (文庫版)』(寄藤文平著、化学同人社) など、科学分野のトピックスやユニークな書籍を紹介する「サイエンス動向情報」。「やってみよう! チャレンジコーナー」は、クイズを通して、ふだんなにげなく見ていたり気にしていなかったりすることの中に潜むサイエンスに目を向ける、参加型のコーナーです。

● 公式 Web サイト (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/>)



◆ 冊子・副読本の作成

2016年度には、「サイエンスの学びを通して未来を拓くための手がかりとなることを願って」(室伏学長 巻頭言より)、『未来を夢見るあなたへ』と題した冊子を作成しました。「物理・科学編」「数理科学編」「ライフサイエンス編」「応用科学・工学編」「地球科学編」があり、お茶の水女子大学で進められている多様な研究、大学院生からのメッセージなどを紹介しています。

また、2017年3月には、副読本『物理はお友達 I 力学基礎編』を発行しました。著者は附属高等学校で30年以上物理を教えてこられた村井利行先生。「物理は難しくて…だから理系はあきらめよう」と考える高校生が少なくないと言われていることから、「物理って面白い!」「難しい!」と気づいてほしいと、企画、執筆されたそうです。

● 『未来を夢見るあなたへ』

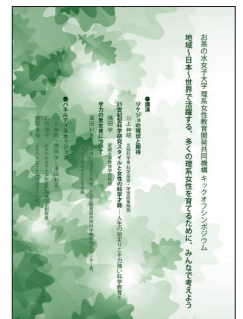


※ 冊子類をご希望の方は理系女性教育開発共同機構までお問い合わせください。

◆ イベントを通じた働きかけ

大学や附属学校と連携しながら、理系に親しみ、理系への進路選択を後押しする各種イベントも実施しています。

2015年8月のキックオフシンポジウム「地域～日本～世界で活躍する、多くの理系女性を育てるために、みんなで考えよう」を皮切りに、小学5・6年生向けの「実験教室 挑戦してみよう!」、小学高学年～女子中高生を対象とした「お茶大カップ ミニ四駆大会」、「ロボットセミナー」。また、先輩たちの経験を聞いたり、直接話したりすることを通して、自らの将来像を描くヒントを見つけて欲しい、と企画された「リケジョー未来シンポジウム」は、これまでにお茶の水女子大学で5回開催されたほか、福井県や山梨県でも実施されました。



こうしたイベントでは、現役のお茶大生や大学院生がSA(サイエンスアシスタント)や司会進行役を務め、女子中高生の身近なロールモデルとして、相談に乗ったりアドバイスをしたりすることもあります。

◆ 第5回リケジョー未来シンポジウム 「サイエンスの学びから将来の夢へ」

2017年3月25日(土)に開催された「第5回リケジョー未来シンポジウム」に参加してみました。

ほぼ満席の会場には女子中高生や保護者の姿が多く、春休みを利用して、北海道など遠方から参加した方もいらっしゃいました。

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2017年春の交流会

- 【実施期間】 2017年3月19日(日)
 【開催地】 仙台市：台原森林公園、太白区中央市民センター、生涯学習支援センター
 【参加内訳】 小学生10名、中学生4名、高校生1名、学生ボランティアスタッフ25名(OB/OG含む)、社会人スタッフ2名
 【活動概要】

東日本大震災後6年が経過し、今回の春の交流会は、7回忌を執り行うご家庭も多いかと案じつつご案内を致しましたが、元気な15名の子どもたちと一緒に楽しいときを過ごすことができました。

仙台駅に集合するとみんなすぐに打ち解けて、台原森林公園へ向かいました。午前中は写真コンテストです。冬のキャンプでは『スマホやカメラを使わない、電子ゲーム機器は



持ってこない』としていたので、今回は大学生が子どもたちに、カメラを思い切り使って楽しむ企画をプレゼントしました。班ごとに分かれて、「全員でジャンプする」「遊具で遊んでいるところ

を撮る」などのミッションを決め、みんなでわいわい協力しながら写真を撮っていきます。お天気にも恵まれ、子どもも学生も思い切り走り回りました。撮影を行った後、みんなでお昼ご飯を食べたり、アスレチック広場で体を目一杯動かして遊んだりすることができて、一同大満足でした。



子どもたちが公園で遊んでいる間に、学生の代表たちと社会人スタッフ1名は、生涯学習支援センターで保護者の方と懇談の会を持ちました。直前にインフルエンザに罹患したお子さんがキャンセルとなったため、保護者の方も2名と

なりましたが、子どもたちの普段の様子や本プロジェクトへのご要望など、様々なお話を伺うことができました。節目にあたる時期となったこともあって、震災直後の様子を振り返ってご自身のご経験についてもお話しくんだり、学生たちにとってとても貴重な時間となりました。以前より、子どもが勉強しないことに悩まれる保護者の方も多かったのですが、「子どもが被災体験によるためか学校でもかなり抑制された状況にあり、帰宅してからも集中しているいろいろな取り組みがなかったり、ゲームなどで時間をつぶしたりして過ごしてしまうのかもしれない」とのお話に心を痛めました。勉強の支援など、保護者の方々のニーズにも応えていきたいという想いを強くしています。

子どもたちは、午後は太白区中央市民センターでドッジボールやフルーツバスケットなどで楽しみました。また並行して、希望者(中学生3名、高校生1名)と学生スタッフ3名で、「夢のつばさのキャンプでやりたいこと」や「変えたいところ」について意見交換会を実施しました。「小学生も高校生も同じ企画で大丈夫。広い施設を使って、全員参加でダイナミックに遊びたい」「夢のつばさのテーマ曲を作りたい」などという意見が続々と出て、良い話し合いができました。これからどのように企画に結び付けていくか、考えていきたいと思えます。



東日本大震災の被災やその後の復興について、配慮の足りない言動が社会に流れるようになっていきます。大学生たちをはじめスタッフも時に迷いつつ、新たに学びつつ活動を続けております。皆様がいつも温かくそして力強くお支えくださって、有意義な活動が続いておりますことを心より感謝申し上げます。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄附のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org

お茶の水女子大学 イベント情報

2017年7月以降に開催される各種イベントのお知らせです。



期日	イベント・講座名	参加費	備考
2017年7月 15日(土) 理学部 16日(日) 生活科学部 17日(月・祝) 文教育学部	学部オープンキャンパス 2017 ・学部・学科説明会(各会場にて、お茶大の教育の特色、入試、奨学金、学生寮、就職、学生支援の説明あり) ・その他(歴史資料館特別公開、徽音祭(学園祭)情報、相談・質問コーナー) ※学科や講座、コースごとに受付開始・見学・終了時間や内容が異なります。詳細は決まり次第HPでお知らせします。	無料	【会場】お茶の水女子大学 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 【事前申込み】不要 【詳細】 http://www.ocha.ac.jp/event/oc2017.html 【問合せ】 お茶の水女子大学 企画戦略課(広報担当) E-mail: info@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5105
2017年 8月26日(土) 9:30~12:00	第21回中学生向け理数一日体験授業	無料	【会場】附属高等学校 【主催】附属高等学校 理数教育推進委員会 【詳細】 http://www.fz.ocha.ac.jp/fk/ (7月上旬掲載予定) 【問合せ】上記HP参照 【申込み】7月中旬予定
2017年 9月2日(土) 14:00~17:20	理系女性教育開発共同機構 シンポジウム 2017 【テーマ】女子生徒にとっての物理・数学 —多くの女性が理系に進むために 【講演者】 清原洋一氏(文部科学省初等中等教育局) 稲田結美氏(日本体育大学児童スポーツ教育学部) 瀬沼花子氏(玉川大学教育学部)	無料	【会場】お茶の水女子大学 【主催】理系女性教育開発共同機構 【対象】教育関係者、大学生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【問合せ】理系女性教育開発共同機構 Email: ocha-cos@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5825
2017年 9月7日(木) 8日(金)	TIA ナノバイオサマースクール (糖鎖・レクチン) 糖鎖と糖鎖認識分子であるレクチンの基礎から応用について学びます。 【対象】糖鎖、レクチンについて学びたい学生・社会人	無料	【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟 2-102 【主催】オープンイノベーション拠点TIA 【共催】お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所 【詳細】 https://unit.aist.go.jp/brd/jp/event/event.html ※申込方法などは、Nanotech CUPAL ホームページへ https://nanotechcupal.jp/nip/
2017年 10月28日(土) 8:30~受付 9:00~開会	平成29年度 お茶の水女子大学附属中学校 教育研究協議会 (文部科学省研究開発学校指定・最終年次) 協働的な課題解決を支える思考・判断・表現の力を育てる授業づくり —新教科「コミュニケーション・デザイン科」の開発— ① 基調提案 ② 公開授業I・II(コミュニケーション・デザイン科、各教科) ③ 研究協議 ④ 講演: 安彦忠彦先生(早稲田大学)	無料	【会場】お茶の水女子大学附属中学校 【主催】お茶の水女子大学附属中学校 【詳細】 http://www.fz.ocha.ac.jp/ft/menu/resarch/d001961.html 【問合せ】お茶の水女子大学附属中学校: 研究部 TEL: 03-5978-5865 FAX: 03-5978-5863 【申込み】詳細は9月に第二次案内 事前申込制 ※当日受付可 http://www.fz.ocha.ac.jp/ft/menu/resarch/d001961.html
2017年12月まで ◆特別公開 7月15日(土)~17日(月・祝): 学部オープンキャンパス 11月11日(土)・12日(日): 徽音祭	お茶の水女子大学歴史資料館 企画展示 「東京女子師範学校からお茶の水女子大学へ —所蔵資料からみる女子高等教育—」 「附属図書館 いま・むかし」	無料	【会場】お茶の水女子大学 本館1階 歴史資料館 【詳細】 http://archives.cf.ocha.ac.jp/ 【見学申込み】歴史資料館ホームページを確認の上、希望日の2週間前までにお申し込みください。 お茶の水女子大学 図書・情報課 歴史資料館窓口 E-mail: shiryo@cc.ocha.ac.jp
2017年 12月2日(土) 記念式典(予定) 8:30~受付 9:00~開会 記念祝賀会(予定) 12:30~受付 13:00~開会	お茶の水女子大学附属中学校 創立70周年記念式典・記念祝賀会		【会場】記念式典: 大学徽音堂 記念祝賀会: 附属中学校アリーナ 【主催】お茶の水女子大学附属中学校 【詳細】記念式典: I部 式典、II部 シンポジウム III部 生徒発表、記念演奏会 記念祝賀会: 会費制(詳細等は検討中) 【問合せ】お茶の水女子大学附属中学校: 副校長 TEL: 03-5978-5865 FAX: 03-5978-5863 【申込み】詳細は本校ホームページで9月頃にご案内予定

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 2017 年度秋学期

	講座名	開講日時	講師・主な内容など
秋学期 9月	「財務会計」	2017年9月2日、9日、23日、30日(土) 13:30～15:00 15:10～16:40	中溝 恵津子 [中溝公認会計士事務所 公認会計士] ビジネスリーダーを目指す上で身に付けておきたい企業会計の重要な事項を学ぶ。
	「財務会計」受講者向け プレ講座	2017年9月2日、9日(土) 10:30～12:00	櫻井 康弘 [専修大学 商学部 准教授] 専門用語や財務諸表の読み方など、基礎的な簿記の知識を学ぶ。 【受講料】8,000円(2日間分) ※別途消費税がかかります。
秋学期 11月	「マーケティング入門」	2017年11月11日、18日(土) 13:30～15:00 15:10～16:40	神原 理 [専修大学 商学部 教授] 顧客(マーケット)が喜ぶ商品やサービスのあり方について、ワークショップ形式で議論。
	「経営戦略の基礎」	2017年11月25日、12月2日(土) 13:30～15:00 15:10～16:40	露木 恵美子 [中央大学大学院 戦略経営研究科(ビジネススクール) 教授] 企業のみならず「経営」には欠かせない戦略について、グループワークや講師との双方向のディスカッションを通して基本から学ぶ。

【受講料】1講座 30,000円(一般)、27,000円(本学卒業・修了生) ※消費税別

【会場】お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科棟 6階 604室

【申込期間】2017年7月10日(月)～7月24日(月) 必着 ※WEBにてお申し込みいただけます

【問合せ】お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局(水・金 10:00～17:00) TEL:03-5978-5501 E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

※ 詳細は、お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 HP (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin>) をご確認ください。

2017 年度 お茶の水学術事業会セミナーのご案内

「こころとからだを拓くレッスン」

インストラクター：猪崎 弥生 氏、落合 敏行 氏

【開催日時】2017年10月20日(金) 10:00～11:30

【会場】お茶の水女子大学 Student Commons 2F マルチパーパス

【受講料】500円 【定員】30名程度

【申込み受付】2017年9月1日(金)～

【問合せ・申込み】お茶の水学術事業会事務局

E-mail: info@npo-ochanomizu.org

TEL&FAX: 03-5976-1478 (月～金、10:00～16:00)

Message for You

体操でもなく、ヨガでもない、からだからこころに働きかけるダンスです。

決まった動きをなぞるのではなく、自分のからだから生まれる自然な動きがダンスになります。

私のからだは私だけのものです。

私のからだを大切に大切に感じてみましょう。

こころとからだはつながっています。

からだはこころを映す鏡になります。

こころが弱くなると、からだも弱くなります。

こころが元気になると、からだも元気になります。

からだの声を聞いて、こころを拓きましょう。

男女年齢を問いません。

ダンス経験のない人も、体操が苦手な人も、こころとからだを拓くレッスンを始めてみませんか。

日常の動きから生まれる動きが、あなただけのダンスをつくれます。



猪崎 弥生 Yayoi Izaki



お茶の水女子大学理事・副学長。専門は舞踊学・舞踊芸術学。1995～96、Laban Centre for Movement and Dance(London)に留学。2000年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨーク滞在。上演活動では、2002年場の「記憶」、2004年「明日の眼差し」、2008年「荒地」が名古屋市民芸術祭審査員特別賞(舞踊部門)を受賞。2005年に名古屋で開催された第5回世界バレエ&モダンダンスコンクールのモダンダンス部門におけるファイナル作品「笑う女」などの振付・指導を行う。中京女子大学教授(現至学館大学)を経て、2006年4月よりお茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース教授。

落合 敏行 Toshiyuki Ochiai



寺山修司主宰の演劇実験室・天井桟敷を経て、現在落合商店主宰。H・アール・カオスや平山素子、大野慶人、館形比呂一などダンス音楽の作曲と生演奏、蜷川幸雄の演劇作品では楽士として舞台にも登場。他に劇作家フェルナンド・アラパールの来日公演や映画監督ヴィム・ヴェンダースの映像作品への楽曲提供、韓国やインド、ポーランドでの国際共同作品制作、上海万博や富山県利賀村に於けるパフォーマンスなど、その活動は多岐に亘る。

お茶の水学術事業会 共催講演会・助成金事業 2017 年度事業の決定と 2018 年度事業の募集についてのお知らせ

お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一つとして以下の事業を行っています。

1. 講演等の共催事業

参加予定人数 50 名以上の一般向けの講演会を対象とし、講師謝礼金の助成（上限 3 万円）、講師の交通費（実費）の支給等を行う。

2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業（助成金の支給）

以下の活動に助成金（「対象となる事業費」の 2 分の 1 以内、上限 10 万円）を支給する。

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

2017 年度採択事業

1. 共催講演会

- (1) 桜蔭会埼玉支部講演会「これから女子の生きる道」
（上野 千鶴子 氏）
開催日：2017 年 4 月 22 日
会場：さいたま市大宮ソニック市民ホール

(2) お茶の水地理学会講演会

「『秘境』一信州遠山郷一 キのう今日あした」（磯前 睦子 氏）
開催日：2017 年 12 月 2 日
会場：お茶の水女子大学

2. 助成金事業

- (1) orange voice トークセッション 東京の未来をデザインする # 2
「誰が子どもたちの未来を明るくできるのか？」
開催日：2017 年 5 月 7 日
会場：IID 世田谷ものづくり学校スタジオ

2018 年度共催講演会・助成金事業の募集について

【対象となる事業期間】2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

【金額等】年間総額 25 万円を上限とし、数件を予定

【応募受付期間】今回から 2 回に分けます。

第一次：2017 年 10 月 1 日～11 月 30 日

第二次：2018 年 4 月 1 日～5 月 31 日

* 応募要項は 2017 年 8 月以降に HP に掲載します。

【事業の決定】期間内に申請のあった事業を一括して審査し決定します。

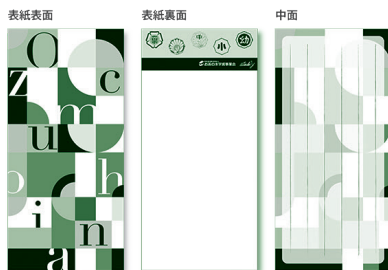
お問合せ：お茶の水学術事業会事務局

Email : info@npo-ochanomizu.org

TEL : 03-5976-1478 (月～金 10:00～16:00)

**“オールお茶の水”デザインの
一筆箋ができました！**

表紙は、国の登録有形文化財建造物に指定されている大学本館と幼稚園舎に使われているスタンドグラスをイメージし、「Ochanomizu」の文字と大学・附属学校園の校章をちりばめました。



縦書きにも横書きにも使えます！

縦 17cm × 横 8.2cm
本文 5 行・30 枚
1 冊 360 円 (本体価格)

日常的な情報交換はメールや LINE、年賀状は印刷したものが主流。そんな今だからこそ、手書きのメッセージは目にとまりやすく、より気持ちが伝わるような気がします。贈り物を送る、借りていた物を返す、書類を発送するなど、ちょっとひと言を添えたい時に重宝するのが一筆箋。デザインも豊富で、少し工夫するとポチ袋やコースターとしても使えます。一筆箋を日常に取り入れ、自分らしく使いこなしてみませんか？

* ご注文・お問合せはお茶の水学術事業会事務局まで

お茶大ゴルフ 好評発売中！！



ご注文・お問合せは お茶の水学術事業会まで！

TEL&FAX 03-5976-1478

E-mail : info@npo-ochanomizu.org

● 本体価格 600 円 * 消費税・送料が加算されます。

* 会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。

● 6袋 (計12枚) 入 ● ばにら・ちょこ・いちご味

編集後記

高校時代、物理に苦しんだ身には、理系女性教育開発共同機構が発行した副読本の「物理はお友達」というタイトルは衝撃的でした。発想の転換というのでしょうか、あの頃「お友達」という視点を持つことができたら、理系に対するイメージも随分違っていたのかもしれない。ところで「リケジョ」の対義語は何でしょう？

広告募集

このページに広告を掲載しませんか？ 次号は 2017 年 10 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様ははじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
http://www.npo-ochanomizu.org

* 会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ